



ヒメイチゴノキ

常緑／低木／木本植物／外来種・園芸品種



科名 ツツジ科 (APGⅢ)

特記 生長：普通

1. 5 cmほどの果実を房状につける。緑から黄、橙、赤へと色付き、表情豊かな樹。熟した果実はジャムや果実酒に利用される。果実がイチゴに似るためイチゴノキ。10～12月に咲くが不定期に咲くこともある。地中海沿岸からアイルランドに分布するツツジ科の常緑樹。



葉



新梢



花



実

Memo

イチゴノキは樹高10mにもなる高木。ヒメイチゴノキは矮性の園芸品種でウネド種とも呼ばれる。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花	期												
果	実												
紅	葉												
施	肥												
剪	定												

★：花芽分化の時期（分化後に剪定すると花付が少なくなる）

好みの環境				
日当り	陽	○	○	陰
土 壤	乾	○		湿
寒 さ	強	○		弱
暑 さ	強	○		弱
潮 風	強	○		弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
		○					○

ポイント

日当たりと水はけのよい腐植質の土壌を好む。浅根性（根の張り方が浅い）のため表土が乾燥しないようマルチング材などで覆うとよい。夏場は朝のうちに充分灌水する。定植後の移植は難しい。

剪定

放任しても自然に樹形がまとまるが、細かい枝が混み合ってきたら、枝抜き剪定にて内部にも日が当るようにするとよい。剪定は春先がお薦め。夏以降では、花や果実を切り落とすことになる。

病虫害

病虫害は少ない。